

観光以上、移住未満 私が好きな地方について 語ります

“関係人口”という言葉をご存知だろうか？ 地方創生のスローガンのもと、各地方自治体では移住・定住策に力を入れているが、なかなか進まないのが現状。そこで注目されているのが、移住でも観光でもなく、地域の人々との多様な関わり場を作り出すこと。地方を応援したいと思うきっかけは様々。リビング読者へのアンケートとインタビューで、地方とのつながりがどのように生まれて、継続しているのかを聞いた。

Love 千葉・房総

Rさん(東京・49歳)

★きっかけ

昔、サーフィンをやっていたこともあって房総エリアをはじめ、千葉の各地が大好き。毎週のように、八街や鴨川に出かけています。

★Loveポイント

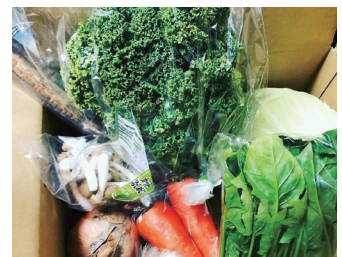
・飼犬の撮影ができるガーデンスタジオやドッグランがあって犬と一緒に泊まれる宿が気に入る。犬のイベントも数多くあります。
・農産物も魅力です。若い農家さんが多いこともあり、新種の野菜もいろいろ。直売所で買うだけでなく、無農薬野菜の宅配も利用していて、母とシェアしています。**スーパーで野菜を買うことはほとんどなくなりました。**

★情報ツール

・イベントや観光情報は、**Facebookのイベントページで見ることがほとんど**。自分の興味があるジャンルが優先的に出てくるので便利です。

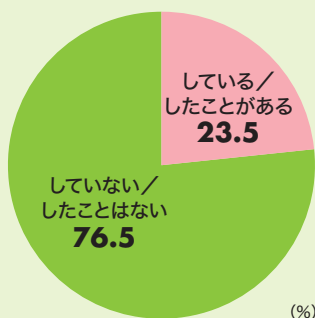
★地方に住むor拠点を持つってどう思いますか？

・夫は将来「海の近くに住みたい」と言っています。私はまだ東京がいいですけど、夫が決めたら一緒に行くと思います。

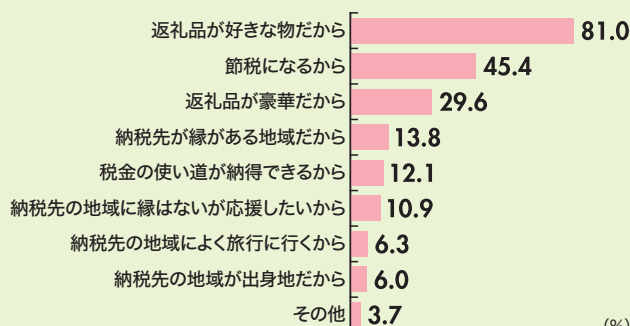


「ふるさと納税」や地方との関わりについてのアンケートから

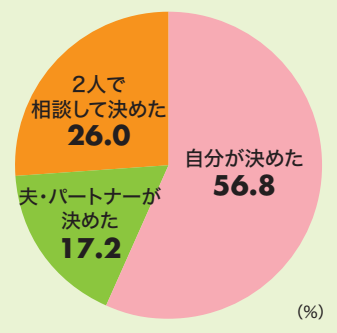
「ふるさと納税」の経験
(1484n)



ふるさと納税先を選んだ理由
(複数回答・348n)



ふるさと納税先や返礼品は誰が決めたか？
(既婚者対象・273n)



【調査概要】

調査期間 2019年11/13~19
調査方法 リビングWeb、あんふぁんWeb、シティリビングWeb でのWeb調査
集計数 1484
平均年齢 47.2歳(20代以下7.5%、30代24.5%、40代26.8%、50代22.1%、60代以上19.1%)

Love 東京・大島

H・Yさん (東京・40歳)

★きっかけ

・10年前に新婚旅行で行って以来、毎年夏に訪れています。

★Loveポイント

・船で2時間足らず、子ども連れでもスムーズに移動できる。自然が豊かで、ごみごみしてなくて遊びやすい。
・夫は、自転車で島を一周するサイクリングイベント「御神火ライド」に参加するのをとても楽しみにしていたのですが、今年は台風で中止に。送られてきたバッグを愛用しています。



・都内にこんなに美しい自然があることをもっと知ってほしくて、InstagramやFacebookにアップしています。

★地方に住むor拠点を持つってどう思いますか？

・子どもたちが大きくなって、海に興味を持って大島の海洋高校に進んでくれたらいいなあ。そうしたら、寮生活の子どもたちを訪ねに大島に行ける…とひそかな野望を抱いています。

Love 熊本

Y・Sさん (神奈川・45歳)

★きっかけ

・10年以上前、熊本に関連する懸賞に応募した際に、熊本県のサポーター登録の案内が来てサポーターに。農産物や特産品、イベントを紹介するDMが不定期に届いていました。

★Loveポイント

・見たこともない野菜などが紹介されていて、DMを見るのが楽しかったです。
・当時、「くまもん」がデビューしたばかりで、どんどん人気者になっていくにつれて、「私は最初から知ってる」ってちょっと優越感がありました(笑)
・いつのまにか、DMは来なくなってしまい寂しいですが、今でも熊本県産の物を意識して買っています。

★地方に住むor拠点を持つってどう思いますか？

・考えたことはありませんが、熊本を最良にしているという気持ちはあります。

Love 岩手

Y・Nさん (大阪・57歳)

★きっかけ

・東日本大震災の後、観光で応援しようと初めて東北に。北海道にはよく行っていましたが、東北も行ってみたいなあということで、その後もツアーで2回ほど行きました。

★Loveポイント

・ツアーに入っていた酒蔵見学以来、日本酒をずっとお取り寄せしています。夫は、東北の日本酒が好きですね。
・今度はツアーではなく、もっとゆっくりできる旅で、温泉を楽しみたいと思っています。雪の「かまくら」も体験したいのですが、冬の東北を個人旅行するとしたら、移手段をどうしたらいいのか悩みますね。

★地方に住むor拠点を持つってどう思いますか？

・観光で行くのがいいと思います。

Love 茨城・行方

Y・Oさん (東京・42歳)

★きっかけ

・干し芋が大好きで、道の駅で買った行方の干し芋がとても美味しかったので。ふるさと納税もしていますが、シーズンには必ず直接、買いに行きます。

★Loveポイント

・買いに行くとき、前もってお店に電話すると、食べごろになる美味しい時期を丁寧に教えてくれます。
・高速道路を使わずに、一般道で行くのが好きです。何力所かの道の駅に寄って、野菜や旬の食材を買うのも楽しい。海が近いのもいいですね。
・うなぎ、あんこうのお店もたくさんあるみたいなので、行方市としてもっとPRすればいいのに、と思います。

★地方に住むor拠点を持つってどう思いますか？

・栃木県出身で、茨城には親近感があります。都会よりも田舎が好きなので、ライフスタイルが変わるときには考えるかもしれませんが、一カ所定住よりは、デュアルライフ(2拠点生活)かな…。

Love 島根・松江 / 広島

M・Kさん (埼玉・53歳)

★きっかけ

・松江は、転勤で住んでいたことがあり、ファンクラブに入っています。広島でファンクラブの飲み会に参加しました。広島は私も夫も、地元。年に1回、東京広島県人会に参加しています。県人会の中で、全国最大規模だそうです。

★Loveポイント

・20年前くらいから、松江の醤油をずっと購入しています。
・日本橋方面に行ったときは、島根のアンテナショップに必ず寄ります。和菓子が有名ですし、あごちくわも美味しいですよ。

★地方に住むor拠点を持つってどう思いますか？

・夫は広島に帰りたと言っています。広島なら大好きな松江も日帰りできる距離ですが、私は趣味があったり、医療面のことを考えても関東にいたいですね。

Love 茨城・つくば

M・Sさん (千葉・49歳)

★きっかけ

・友達がニュータウンに家を建てたので、年に2、3回遊びに行くようになりました。友達が車を出してくれて、直売所巡りや自然食のレストランに行ったりしています。

★Loveポイント

・とにかく食べ物が美味しい! 野菜、果物はもちろん、ロースポークという豚肉もよく買います。行くときはいつも保冷バッグ持参、帰りは大荷物で“行商のオバサン”みたいになっています(笑)。
・意外といたら失礼だけど、オシャレなレストランが多く、開店と同時にいかないといけない人気店もあります。

★地方に住むor拠点を持つってどう思いますか？

・今はまだいいかな。でも、友達の住環境は羨ましいですね。



Love 栃木

Y・Sさん (東京・48歳)

★きっかけ

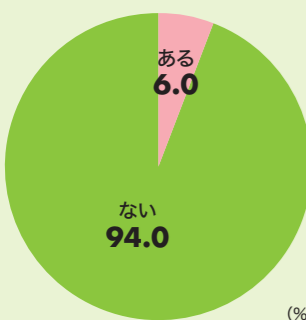
・21歳になる娘が幼稚園のころ、「栃木物産のクチコミモニターになりませんか?」という案内を園からもらってきて、応募したのがきっかけです。

★Loveポイント

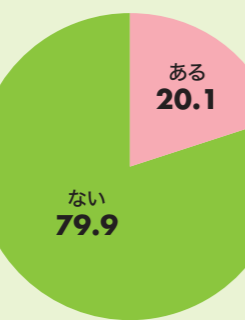
・以前は2~3カ月に1回程度会報誌が来ていましたが、今は、1年に1回程度? 忘れたころに届く感じです。
・お米やかんぴょうなど農産物のニュースが載っていて、レシピも入ってきます。お取り寄せなどはしていませんが、栃木の農産物と意識付けはされていて、スーパーでも栃木産を手に取ります。
・稲刈り体験やいちご摘み体験の案内もあって、子どもたちが小さかったころ行きたかったのですが、車がなかったで断念しました。
・いちごはいろいろな種類があるようで、心ひかれます。
★地方に住むor拠点を持つってどう思いますか?
・子どもの受験が終わり、自分たちのための時間をどう使うか、これからようやく考えるところなので、なんとも…。



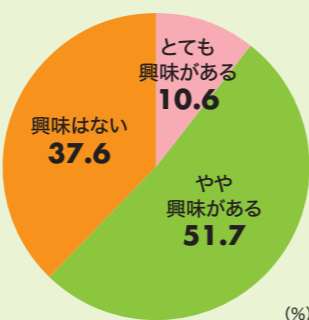
ふるさと納税先と納税・返礼品以外の交流や活動への参加経験 (348n)



ふるさと納税以外でつながりのある地域の有無 (1484n)



自分が住んでいる以外の地域とのつながりを持つことへの関心 (「つながりのある地域がない」人対象:1185n)



ふるさと納税をきっかけにつながりを築く策は?

地域とつながりを持つことへは、約6割が興味を持っている。一方、ふるさと納税経験者の54.0%が、「納税先から寄付以外のお知らせや案内は来ない」と回答。地方とのつながりの第一歩でもある「ふるさと納税」。地方のファンになってもらうために、寄付だけで終わらない“つながり”を築く策が、もっとあっていいのではないかな。

「ふるさと納税」以外でつながり・関わりのある地域名と具体的な内容(フリーアンサーから)

- 和歌山県かつらぎ町天野の里 会社のイベントで田植え、稲刈りがあります。稲刈り参加者にはお米が配られるのですが、これがおいしい! 田植え、稲刈りの際に直売所へも立ち寄るのですが、野菜なども購入でき、毎年お会いする天野の里の方たちとの交流も、大好きなつながりです(東京・29歳)
- 山形県米沢市 義母がさくらんぼの木の一オナーとなり購入したので、6月下旬頃に毎年収穫をしに行きます(東京・42歳)
- 山形県高島町 好きな枝豆農家さんがいるので、時期が来ると定期的に買いに行く(福島・39歳)
- 静岡県静岡市 単身赴任の主人が住んでいるので子どもの長期休みには必ず訪れています。第二のふるさと的な感覚です(千葉・36歳)
- 鳥取県岩美町 好きなアニメの舞台になった地域で、年に1回は必ず旅行します。今まで5回は行きました(宮城・34歳)
- 兵庫県丹波市 近所の方たちと丹波産の米を取り寄せています(大阪・63歳)